
北九州市立大学 外国語学部

英米学科

で真のグローバルリーダーへ!



皆さんへのメッセージ

「北九州市立大学といえばフロンティアスピリット」と言われるくらい、わたしたちの大学はこの精神を大切にしてきました。文豪ゲーテは、“Wer fremde Sprachen nicht kennt, weiss nichts von seiner eigenen.”（外国語を知らないものは自国語についても何も知らない）と言いました。これは、「外国語を知らない人は一人前の人ではない」と理解することもできるでしょうし、「外国語を通して見える世界を知らない人は、世界を正しく見ているわけではない」と言い換えることもできるかもしれません。いずれにせよ、外国語ができることはそれだけの重みを持つ、ということは受けとめておかなければならないでしょう。

本学は、1946年に小倉外事専門学校としてスタートし、その後大学に昇格し、北九州外国語大学、さらに現在の北九州市立大学へと発展してきました。英米学科は創設以来70年の伝統を持つ学科で、常に北九州市立大学の最先頭を歩んできました。わたしたちはこれまで、「高度な英語運用能力を身につける」「英語の心を学ぶ」「英語の先の世界を見据える」の3点を教育の柱とし、責任ある発言のできる「英語人」の養成に努めてきました。

2019年度から英米学科はさらに大きく発展しています。英語力養成はもちろん、英語による授業が大幅に増え、国際ビジネスを学ぶプログラムが新たに加えられることで、これまで以上にグローバルに活躍する人材の養成を行うことができる体制が整いました。もちろん、多様なバックグラウンドを持つ専任教員の全員が日英バイリンガルです。

言うまでもなく、英米学科は留学を含む海外活動に力を入れており、多くの学生がそれらの活動に参加しています。留学経験のある教員が、責任を持ってアドバイスを行なっています。他方、世界各国の大学から留学生を受け入れ、英語による授業を増やし、皆さんが留学生と机を並べて学んでいける環境作りにも尽力しています。新型コロナウイルスの影響で海外との往来が制限される中でも、留学生は少しずつ入国しており、キャンパスの国際化は着々と進行中です。

また、これからの時代、大いに注目され期待されているのが海外インターンシップです。英米学科では3ヶ月以上の期間のインターンシップへの参加をお勧めしています。米国フロリダ州にあるValencia Collegeでアカデミックな学びを行い、同市のウォルト・ディズニー・ワールド内のパークやホテルなどでインターンシップを行なうDisney International Programに加え、2019年より米国ワシントンD.C.に本拠を置くNPO法人Cultural Vistasを介して、米国の企業や国際機関などでインターンシップを行なうプログラムを開始しました。これらのプログラムにも、ぜひ意欲的に参加してください。

皆さんのご入学を心よりお待ちしております。

目 次

1	英語プログラム	2
2	英米学科の開講科目	3
3	英米学科の授業	4
4	二つの外国語の達人への道	5
5	充実した海外留学システム	6
6	海外インターンシップ	8
7	Disney International Program	10
8	就職と進路	12
9	英米学科の入試	14
10	学生活動・アルバイト・クラブ活動	16

1. 英語プログラム



英米学科の教育の最大の目標は、皆さんを「英語のエキスパート」に育て上げることです。英語のエキスパートとは、英語運用能力に優れ、流暢に英語を駆使できだけでなく、さまざまな話題の英語を理解し、自在に自分の意見を述べる能力にも秀でた人と言えます。英米学科では、わたしたちが日本語でできることのすべてを英語でできる人の育成を目指しています。

その目標のために、1年次に徹底的に英語力を鍛え上げ、2年次以降は英語で専門科目を学びます。2年次以降に中核となるカリキュラムでは、三つのプログラム群が設けられており、皆さんはそこから一つを選択し受講します。その中心となるのは「ゼミ」です。原則として一人の教員について2年間学びを深め、最終的には「卒業課題」を提出します。これらを通して、高い英語運用能力と専門分野の知識とをともに持ち合わせたグローバルな人を育成することを目指しています。

1. 英語運用能力を効果的に高める「英語集中プログラム」

英米学科では、1年次から英語集中プログラムが始まります。このプログラムでは、18名の日英バイリンガルの専任教員が中心となり、皆さんの英語の運用能力を効果的に養成し、皆さんが英語で学問研究をするための橋渡しをします。

入学時に実施する英語力のプレースメントテストの結果によって、皆さんをStage 1～3の3グループに分け、それぞれの実力を効率的に伸ばすための授業を提供します。1年次1学期は、どのステージの学生も「Communicative English I～IV」の4科目を受講します。2学期になる前に再度英語力を確認し、Stage 1・2の学生は「Communicative English V～VIII」を、Stage 3の学生は「Higher English I・II」を受講することになります。

1年次2学期の時点でStage 1・2の学生は、2年次1学期または2学期に「Higher English I・II」を受講します。「Higher English」は、留学に必要な試験IELTSの受験を意識した内容です。卒業時の目標は、IELTS 6.5以上、TOEIC860以上です。

思うように英語力が伸びない場合には、専任教員が分担して皆さんのケアを行なうとともに、英語力を伸ばすための補習などを行ないます。

2. アカデミックな英語力を養成するための「Academic English」など

「英語集中プログラム」と並行して、「Academic English I～IV」を受講します。これらの科目は、広い意味での英語運用能力である学術的なスキルを伸ばすことを目標としており、特に英語による論文執筆、ディベートやディスカッションを行います。また、4年時には、海外の大学院への進学やビジネスで使う英語を意識した科目が用意されています。ビジネス系大学院への準備となる科目も選択可能です。

3. 留学・海外インターンシップの奨励

「英語集中プログラム」や「Academic English」での学びの成果を実践できるように、留学や語学研修、海外インターンシップなどへの参加を強くお奨めします。また、模擬国連などの「特定課題演習」を選択科目として設定していますので、これらにも積極的に取り組んでください。

2. 英米学科の開講科目

1. 基盤教育科目

英米学科のカリキュラムは、基盤教育科目と専門教育科目からなり、両者を並行して履修することになっています。「英語集中プログラム」と第二外国語科目は、基盤教育科目の外国語教育科目に位置付けられています。第二外国語は五つの言語から選択して学ぶことができます。ぜひ二つの外国語の達人を目指してください。

2. 専門教育科目

前述の「Academic English」の他、1年次1学期に開講される導入科目「English for Core Program」、1年次2学期に開講される専門入門科目を経て、2年次から三つのプログラムに分かれて、そのプログラムの科目群を中心に履修します。

- **Language and Education Program**：英文法、語用論、第二言語習得理論、社会言語学、意味論、音声学・音韻論などを中心に学びます。英語教職を目指す学生向け
- **Society and Culture Program**：英米文学、英米研究、通訳翻訳、ジェンダーなどを中心に学びます。航空業界、国際NPO、通訳翻訳者などを目指す学生向け
- **Global Business Program**：観光政策、国際経済、ホスピタリティ論、経営戦略論、マーケティングなどを中心に学びます。観光業界や商社などを目指す学生向け

3. ゼミ

3～4年次の2年間には、「ゼミ」が開講されます（以下参照）。学科のすべての専任教員がゼミを開講し、きめ細やかな指導を行ないます。ゼミは、4年間の学びの集大成となる卒業論文・課題へと繋がっていくものです。2年次の秋頃に希望調査を実施し、冬に所属が決定します。

◎Language and Education Program

【英語教育】第二言語習得論、教材論、教授法など、英語教育に関わるさまざまな課題を研究します。

【社会言語学】現実に使われていることばについてデータを集め分析し、ことばと社会の関わりを検証します。

【英語学】英語の成り立ちをより深く理解するための英語学を深く掘り下げて学びます。

◎Society and Culture Program

【通訳】通訳に必要なスキル面の訓練と、背景知識や教養を身につけることを柱に取り組みます。

【翻訳】英日翻訳と日英翻訳を中心に扱う2種類のゼミがあります。

【異文化間コミュニケーション】異文化を背景とするコミュニケーションのギャップを観察・検証します。

【メディア英語】テレビ、新聞、インターネット、演劇の舞台等で用いられる英語を研究します。

【アメリカ研究】歴史や社会、音楽、文学など、多岐にわたりアメリカの過去と現在、未来を見つめます。

【イギリス研究】イギリスの文学、文化、芸術、民話、ジャーナリズム等、多岐にわたり深めます。

◎Global Business Program

【国際ビジネス】国際貿易データ、日本と韓国のビジネスケース等を活用して、国際経済と国際経営の理解を深めます。

【組織・リーダーシップ】国際ビジネスが進むなか、多文化マネジメントの観点から人材や組織リーダーシップについて研究します。

【ファイナンス】ファイナンスの観点から、企業分析・評価だけでなく株式市場、投資、国際金融まで、幅広い分野を研究します。

【イノベーション】戦略フレームワークやデータ分析を利用し、各種ビジネスケースを研究します。

【観光ビジネス】マーケティング及び国際コミュニケーションを基礎に、国内外の観光ビジネスを検討します。

3. 英米学科の授業

Q.1 専門科目はすべて英語で授業が行なわれるのですか。英語が話せなくても、授業についていけますか。



原則として、英語名の科目は英語中心で、日本語名の科目は日本語中心で行なわれます。英語を使って授業を行なう割合は、およそ全体の7割前後です。

現時点で英語を話すことに自信がなく、英語中心の授業に不安を感じられる方もいるかもしれませんが、しかし、前述の「英語集中プログラム」などを経て専門科目の授業を受ける仕組みになっていますので、心配する必要はありません。授業を進めるスピードも、皆さんの状況を見ながら進めていきます。

また、英米学科の専門科目の中には、皆さんに積極的に意見を求める授業も多くあります。言語によらず発言の機会が多くありますので、まずは自分の考えを述べることに慣れましょう。

Q.2 英語をすらすら話せるようになりますか。卒業までに TOEIC 何点を目標せば良いでしょうか。

英語を流暢に話せるようになるためには、話す練習をたくさんすることが必要です。授業でもそのための機会を用意していますし、授業外でも自分から時間を作って日々練習すれば、必ず話せるようになるでしょう。現実に、そのようにして話せるようになっている学生は多くいます。

また、コミュニケーションは双方向ですから、一方的に話すだけでは不十分です。相手の発言を正しく聞き取り、理解できることが前提になります。したがって、リスニングやリーディングといった受容技能も伸ばす努力をしてください。

英米学科では、卒業時の目標スコアを IELTS6.5 以上、TOEIC860 点以上と設定しています。英検1級とほぼ同等のレベルです。ただし、スコアや級を取得することは、必ずしも高度な英語運用能力の習得とイコールではありません。筆記試験での成績は優秀でも、実践力に結びついていない人も少なくありません。これでは高度な英語運用能力を習得したとは言えません。スコアに一喜一憂することなく、総合的に英語力を伸ばして目標を達成してください。

Q.3 編入学を考えています。どのくらい力をつけていれば良いですか。

編入学試験に合格できることが、授業について行けることのみならず、合格できる実力があれば過度に心配する必要はありません。英米学科では、2年次になるときの TOEIC スコアの目標が 730 点と設定されています。ですので、3年次編入のための数値の目安としては、TOEIC700~800 点以上と考えてください。

編入学試験対策としては、英文または日本文を読んで内容を把握し、それに対する自分の考えを英語または日本語でまとめる力をつけることを課題に取り組んでください。ただし、年度によって出題の傾向が変わりますので、過去問にはかならず目を通しておくことをお勧めします。

4. 二つの外国語の達人への道

グローバル化の中、英語が事実上の国際共通語としての地位を獲得し、小学校でも英語が科目化されています。他方、世界中で複言語化の必要性が叫ばれ、英語以外にもう一つの外国語を駆使できる能力がこれまで以上に求められてきています。英語だけでも大変ですが、ぜひ「二つの外国語の達人」を目指してください。

1. 5カ国語の第2外国語

本学は外国語学部にルーツを持つ大学にふさわしく、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語（韓国語）の5カ国語から選択して学べます。英米学科では、どれか1つの外国語を選んで1年間学んでIからIVまでを履修するようになっています。この時点で各言語の検定の5級(準4級)から4級に合格できるレベルになります。

さらに2年次まで学んでVからVIIIまで履修すると、各言語の検定の3級合格が視野に入るレベルに到達します。ここまで学べば、各言語の基本はほぼ習得したといえるでしょう。

中国語と朝鮮語（韓国語）は、さらに3年次に「上級中国語Ⅰ～Ⅱ」および「上級朝鮮語Ⅰ～Ⅱ」が開講されています。ここまで履修すると、中国語検定およびハングル検定2級合格が視野に入り、「高度な運用能力を身につけています」と胸を張って言えるレベルになります。皆さんには第2外国語はVIIIまで、中国語と朝鮮語（韓国語）の場合はさらに上級Ⅱまで履修し、「二つの言語の達人」を目指すことを強くお勧めします。

2. アジアの言語である中国語や朝鮮語(韓国語)のニーズの高まり

以前は英語と歴史的なつながりの強いドイツ語やフランス語などを第2外国語として選択することが奨励されていました。しかし、昨今の中国ビジネスの重要性を考えると、積極的に学び

たい言語がなければ中国語をお勧めします。「英語力と中国語力の双方を備えた人材」は各企業で切実に求められています。こうしたトレンドを理解し、他の人と差別化するためにも、英語に加えて中国語を習得していれば、就職活動を行なう際にも、それは特別な才能として大きな武器になります。

「でも、ビジネスは基本的に英語で行なわれるのだから、英語で商談して、いざというときは通訳に頼れば良いのでは？」と思う人もいるでしょう。ビジネスだけならそれで良いかもしれませんが、アジ

ア人は「情」で動きます。仕事をともにする人とは、ビジネスライクではなく、仲良くなりたいのです。その時、片言でも中国語ができれば、親近感が湧きます。中国語は世界で話す人口が最も多い言語です。世界中で話す機会がたくさんあります。

もう一つのアジアの言語である朝鮮語（韓国語）もお勧めです。日本にとって最も近い外国であり、昨今はK-POPや韓国ドラマなどのファンも多くいます。また、北朝鮮との今後の関わり方を考える意味でも、朝鮮語（韓国語）ができることは重要です。現在でも韓国とのビジネス交流は盛んに行なわれていますが、その傾向は今後ますます深まっていくことと思われます。そういった意味からも、挑戦する価値のある言語です。



5. 充実した海外留学システム

1. 交換留学

交換留学は、同数の学生を相互に送り出し授業料は相互不徴収、すなわち所属大学に授業料を払えば留学先には払わなくて良いとする制度です。したがって、交換留学では、航空運賃や生活費、寮費などは負担してもらいますが、現地での授業料負担がありませんので、prestigeは高く費用負担は低い、とても恵まれた制度です。留学期間は1年間です。

交換留学生の募集は、これらの大学を春派遣と秋派遣に二分し、各学期末に募集します。したがって、応募は1年次から可能ですが、実際に派遣されるのは最速で1年次末の2月後半頃となります。派遣する学生数は、大学によって異なります。

交換留学での派遣は1度のみですが、後述のタコマ・コミュニティカレッジへの半年の派遣プログラムに参加した人が、交換留学に参加することも可能です。したがって、最大1年半の公的な留学が可能です。1年間はもちろん、1年半の留学をしても、4年間での卒業が可能です。ただし、教職課程を履修する場合は、卒業までに5年間かかりますので、ご注意ください。

交換留学の目的は語学力向上ではなく、専門科目を学びに行くことが目的です。交換留学先で取得した単位は、本学の卒業単位として認定する制度があります。また、給付型の各種奨学金も用意されています。年度によっては「交換留学」ではなく「派遣留学」の制度になる場合もあります。入学後、情報を確認した上で、準備して挑戦してください。

主な交換留学先（詳細は大学発行の『海外留学 GUIDE BOOK』を確認してください）

米国：フォートルイス大学、豪州：タスマニア大学、ドイツ：ブレーマーハーフェン大学、アイルランド：アイルランド国立大学ゴールウェイ校、ウォーターフォード工科大学、英国：オックスフォード・ブルックス大学、カーディフ大学、タイ：タマサート大学、マレーシア：サラワク大学、ニューエラ・ユニバーシティカレッジ

2. 派遣留学

主な派遣留学プログラムとして、米国ワシントン州のタコマ・コミュニティカレッジへ半年間留学するプログラムがあります。このプログラムは授業料の負担が生じますが、大学から半年分の本学授業料相当額を奨学金としてお渡しする制度を実施しています。その結果、授業料およびホームステイ料160万円程度（米ドル基準のため、若干の変動あり）と、別途航空運賃と生活費を用意すれば、プログラムに比較的容易に留学が出来ます。給付型の各種奨学金も用意されています。派遣人数は1学期派遣30名、2学期派遣25名です。



このプログラムの目的は、英語力をしっかり固めることです。また、若干のアメリカ文化を学ぶための専門科目も用意しています。取得した単位は、北九大の卒業単位として認定します。このプログラム修了後に交換留学生として派遣された学生も、かなりの数にのぼります。皆さんのチャレンジを期待しています。

主な派遣留学先（詳細は大学発行の『海外留学 GUIDE BOOK』を確認してください）⇒

米国：タコマ・コミュニティカレッジ、ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジ、カリフォルニア州立大学モントレーベイ校、フォートルイス大学、カナダ：バンクーバーアイルランド大学



3. 選抜時の審査基準

交換留学生の募集は、各学期の後半に行ないます。その際、留学希望者は（１）IELTS のスコアと、（２）留学を目指す理由や目的を記した願書を提出してもらいます。一定の基準を超えている志願者に対して面接を行ない、目的や意欲、英語力を確認し、それらを総合して判断して派遣する学生を選抜します。その際、学業成績も考慮します。英語力の確認は必要ですが、必ずしもスコアの順番に派遣学生を決めているわけではありません。派遣先で何を学びたいのかが明確かどうか、高い志を持っているかどうかも重要です。

アイルランド国立大学ゴールウェイ校とカーディフ大学は、派遣学生に IELTS 6.5 を要求しています。そのため、これらの大学に関しては、このスコアを達成している必要があります。しかし、それ以外の大学の場合、IELTS 5.5～6.0 程度のスコアがあれば派遣される可能性が高いため、希望を捨てずに挑戦してください。タコマ・コミュニティカレッジへの派遣学生の選抜に関しては、（１）TOEIC のスコアと（２）願書の提出が必要です。現在のところ、希望者はほぼ全員が派遣されています。ぜひチャレンジしてください。

4. 留学に対するサポート

「留学はしたいけれど、自分は全然英語が話せないから」と不安に思うかもしれません。しかし、英米学科に入学してスキルを磨いていけば、だんだんと話せるようになるはずで、留学前から英語がペラペラである必要はありません。留学に必要な英語力は、英語の文献を読めること、英語で質問できること、英語でレポート・論文が書けること、英語で発表ができることなどです。つたない英語であっても、言うべきことを言えることの方が、はるかに大切です。それができるようになれば、徐々に流暢に話すことができるようになっていくでしょう。

本学には国際教育交流センターがあり、皆さんの留学のサポートおよび北九大への留学生の世話を担当しています。相談したいことがあれば、気軽に訪ねてください。センターでは、海外で学ぶために必要な知識を身につけるための科目「世界での学び方」を開講しています。また、年に２回留学相談会を実施しています。皆さんもこのような留学に関するサポートを活用して夢を実現されるよう、期待しています。また、英米学科のほとんどの教員が留学経験を持っています。遠慮なく声をかけて、相談してください。

5. 海外語学研修

語学研修プログラムだけを見ると、日本国内での英語ネイティブスピーカー教員による英語の授業と大差がないように見えるかもしれませんが、しかし、英語圏で生活する場合、教室内外で 24 時間英語漬けの生活を送れるというメリットがあります。ですので、その環境を最大限利用しましょう。授業の時だけ英語を使うという生活では、成果を期待することはできないでしょう。

本来、海外語学研修は、教室で学んだことを教室外の環境で実践することに意味があります。ですから、教室内外で意識的に英語を使うように心がけると、成果は大きいでしょう。派遣先大学から用意されているプログラムにも積極的に参加すると、英語力の上達が速いだけでなく、楽しい時を過ごせるはずで、

6. 海外インターンシップ (プログラム再開に向けて準備中)

本学は留学に熱心な大学として広く認知され、そのことが北九大を志願する動機になったという学生も少なくありません。留学を志す学生には、ぜひ在学中に留学を実現してほしいと思います。多くの学生は卒業後、企業に就職したり公務員になったりして、海外企業等とビジネスや交渉を行っています。

経済がグローバル化する中、海外の企業などで実務を体験する海外インターンシップの重要性が強く認識されてきています。海外インターンシップはより自律した個人的な経験となり、それだけ責任も重くなります。国際的に活躍できる職を目指す方は、ぜひ在学中に海外インターンシップに挑戦してください。期間は3ヶ月から半年程度、しかも日本企業の現地法人などではなく、現地企業での実習をお勧めします。

1. Cultural Vistas のプログラム

わたしたちはこれまで、アメリカでインターンシップなどを推進する NPO 法人 Cultural Vistas と丁寧な交渉を重ねてきました。その甲斐あって、2019年从这个組織を通して、3ヶ月から最長1年間、アメリカの企業や NPO 組織などに学生を派遣できるようになりました。このプログラムは、次に紹介する Disney International Program と同様に、NACE (National Association of Colleges and Employers) というアメリカの大学と企業の連合組織が、これまですでに長い交流実績のある日本の全国大学生協同組合連合会に対して紹介の労をとってくださったことにより実現したもので、大学生協連と北九大生協の全面的な協力のもとに実現できたものです。

Cultural Vistas は、「教育は、職場環境の中でつながりを作り、そこで知識を応用できてはじめて教育である」という信念を持った教育 NPO 組織です。アメリカの文化と言語の中での経験を通して、未来のリーダーを養成していくことを通して、アメリカと国際社会の絆を深める活動を行なっています。



Cultural Vistas は、1963年以降、アメリカおよび世界135カ国から、年間6,000人前後を1,000社以上の会社や組織へインターン生として派遣しています。過去に派遣したインターン生の累計は、10万人以上になります。

Cultural Vistas は、アメリカ国務省から認可を受け、J-1ビザ（交流訪問者ビザ）を利用し

た実務研修プログラムの審査を行なうアメリカ最大の認可団体です。すでに日米間では、外務省の IDYL や TOMODACHI などのプログラムに参加する学生の派遣を行なっており、日本とビジネスを展開したいと考えている企業や、日本からのインターン生を必要としている組織など、継続的に提携企業の開拓を続けています。

就労時間中およびその他の時間の両方で英語のみの環境で対応できるだけの英語力が必要とされますので、TOEIC750点程度の英語力を応募要件として設定しています。申請の際は願書やエッセイの提出が求められ、それらに基づいてオンラインでのインタビューが設けられます。「どの企業でインターンシップをしたいか」ではなく、「自分のスキルをどこで活用したいか」「どういう経験をしたいのか」などが問われ、最終的に Cultural Vistas がその人をもっともふさわしい派遣先へ送り出します。できるだけ希望者の専攻や興味に沿ったプログラムにするため

に、派遣予定企業とのオンラインでのインタビューも行なわれます。派遣先は、ハイテク企業や新興企業、法律事務所、大学、研究所、NPO 法人、政府機関などです。

インターンシップは「就業」体験であると同時に「修行」体験です。インターンシップを通してその会社のために貢献できるように努力しましょう。そして自分の考えをしっかりと主張して、他の社員の方々と積極的にコミュニケーションをはかってください。「英語力」以上に高度な「コミュニケーション力」を発揮する必要がありますので、そのことを意識してよく準備し、積極的にチャレンジしてください。そして意欲的に「つながり作り (Networking)」をしてください。ワシントン D.C.ではさまざまな人々との交流の機会があります。そうした機会を捉えてつながりを作り、発信し、吸収してることが、将来の大きな財産につながります。

2. ワシントン D.C.での住まい

このプログラムに参加する際に問題となるのが、住居の確保です。アメリカの都市部では、アパート1室を借りるのに通常、月 20 万円～30 万円の家賃がかかります。負担を軽減するために、大学生協連が提携している ISP (International Students Placements) と協議し、ホームステイ(2食付き)で月あたり 15 万円以下での住居提供の協力を得られることになりました。基本的に、この組織を通してのホームステイを前提に、プログラムを案内します。

また、ワシントン D.C.の場合、学生に人気の物件として International Students House of Washington D.C.があります。市内の便利な場所に位置し、1月の家賃も 15 万円以下と、たいへん好ましい条件です。人気物件のため、空室が出ても瞬時に埋まることが多いです。また、21歳以上 (アメリカでの飲酒可能な年齢) でないと入居できないという条件がついています。21歳以上の方であれば、こちらを案内できる可能性もあります。

3. 現在検討中のプログラム

次ページの Disney International Program に関わっている Valencia College との間で、現在、いくつかのプログラムを検討しています。実施にはもう少し時間がかかりますが、オーランド市内の空港 (国内線) でインターンシップを行う方向で、調整と準備を進めています。

4. 夏休み海外インターンシッププログラム

本学のキャリアセンターの教員が、主にアジアの企業へ派遣するインターンシッププログラムを開発し、夏休みの時期に実施しています。短いものは2週間前後、長いものは1ヶ月を少し越える程度の期間ですが、毎年多くの学生が参加しています。こちらも並行してチャレンジしてみてください。

☆ Model United Nations (英語模擬国連) ☆

この他にもたくさんの国際的な活動の機会が皆さんを待っています。情報をいち早く入手して自分の問題意識に訴える活動に積極的に参加しましょう。Model United Nations (MUN) もそのような国際的な活動のひとつです。北九州市立大学は国連アカデミック・インパクトの加盟団体です。MUN は、SDGsをはじめ、国際問題について皆さんが他大学や他国の学生とじっくりと議論できる機会です。現在は「特定課題演習」として授業にも取り入れられています。国内外で多くの学生が参加しており、海外だけでなく国内でも国際的な舞台を経験できる場になっています。

7. Disney International Program (プログラム再開に向けて準備中)

1. Disney International Program

2012 年度より大学生協連のプログラムとして、本学学生を米国フロリダ州オーランド市の Walt Disney World を拠点に実施される Disney International Program(バレンシア=ディズニー国際プログラム)に派遣してきました。このプログラムは、同市内の Valencia College をパートナー大学として、ビジネスやホスピタリティなどについて学習し、Walt Disney World でインターンシップ学生としてパークやホテルなどで就労実践を行なう、半年間のプログラムです。これまで 80 名以上が参加しています。

2. プログラムの特徴

このプログラムの特徴は、(1) アカデミックな学びとインターンシップとの連動によるダイナミックな教育課程を通して実践的な知識を習得するとともに、(2) 世界を代表するエンタテインメント企業での就労経験を持つことにより、多方面に応用可能なスキルを伸ばし、最高の異文化環境において異文化適応能力を高めることができる点にあります。



皆さんは、Valencia College とディズニー社が提供する四つのコースの中から、必要な科目を履修します。このプログラムに参加することで、さまざまな場面で応用できるスキルを習得することができます。

また、プログラムに参加する世界各国の人々との寮生活で、異文化圏の人々と友情を育むこともできます。Walt Disney World では常時 70,000 人の従業員が働いており、7,000 人がインターン生です。その内 2,000 人が日本を含む海外からの参加者です。

レポートや課題の提出、授業中のディスカッションへの積極的な参加など、通常の留学と同じ条件も課されます。実習においても、暑い中・寒い中で長時間立ったり歩いたり、水に濡れたりなどのハードな状況があり得ます。それだけに、高い目的意識を持って努力する人のみ派遣します。社会見学などのイベントにも積極的に参加して、グローバルな視野を身につけてください。

3. Valencia College 提供のアカデミックプログラム

Valencia College は、前述の四つのコースのうち、「ビジネス・マネジメント」と「アカデミック・トレーニング・オンライン」を提供します。「ビジネス・マネジメント」コースでは、ビジネス上の必要な態度や考え方、スキルなどを学びます。「アカデミック・トレーニング・オンライン」では、読書やレポート、日記を付けるなどの個別課題が課されます。オンラインでのディスカッションや課題提出なども含まれ、課題の達成度や文化イベントを含むグループワークへの参加をもとに、成績評価がなされます。

Valencia College は毎年 60 カ国以上から 500 人以上の留学生を受け入れ、在籍学生数 60,000 人の大規模かつきわめて評価の高い 4 年制大学です。2011 年には全米で最も優れたコミュニティ・カレッジに対して贈られる Aspen Prize を受賞しています。また、Disney International Program のパートナー大学として認定されている全米 14 大学の 1 校として選ばれていることから、その高評価ぶりが伺えます。

4. ディズニー社提供のプログラム

ディズニー社は、「ディズニー・カレッジイトコース」と「アカデミック・トレーニング実習」の二つのコースを提供します。「ディズニー・カレッジイトコース」では、ディズニー社が提供する6つのコースから1つを選択して履修します。これらのコースは、ACE(米国教育審議会)に認定されている、質の高いプログラムです。

「アカデミック・トレーニング実習(インターンシップ)」では、それぞれの希望と適性に応じて、Walt Disney World のキャストとして、さまざまな業務を担当します。食品や物品の販売、アトラクションの運營業務、キャラクターパフォーマー、ホテルなどでのコンシェルジュ、調理、ライフガード等の業務です。いずれもゲストと直接関わる業務で、チームワークが重要な職場です。なお、このインターンシップは有給です。

インターンシップ中の出勤状況や仕事ぶりをもとに、研修担当者から評価書が渡されます。授業や課題提出と並行したインターンシップ実習となるので、時間管理や体調管理をしっかりと行なうことが必要です。



5. 参加の条件など

このプログラムに参加するためには、(1)アメリカ入国の第一目的が就労でなく修学であること、(2)在籍大学で好成績であること、(3)アカデミック・トレーニング実習が学生の専攻分野と関連していること、(4)最低限の英語力要件を満たしていること、(5)参加時に第1年次を修了していること、などの条件があります。

それに加えて、オンラインで受験する Versant Test と、ディズニー社スタッフによる面接テストの両方に合格する必要があります。Valencia College では、このプログラムの参加条件として、英語力を「レベル7」(TOEIC650点~750点程度)以上としています。

他方、ディズニー社スタッフとの面接では、英語力より「パフォーマンス力」が問われます。言い換えれば、笑顔でゲストを幸せな気分にする力を持っているかどうか、ディズニーのパークで働くのに適している人かどうか審査されます。大学生協も、このプログラム参加のための支援講座を開講しています。

このように、本プログラムはたいへん優れた内容ですので、就職活動の際にも高い評価対象となります。また、Valencia College で履修した科目のうち、ビジネス・マネジメントコースの科目について、英米学科の学生に対しては4単位の単位認定が可能です。したがって、休学せずに本プログラムに参加することができます。

なお、本プログラムには、アメリカ政府移民局の規程により、関連した専攻分野の学生のみ派遣できることになっています。そのため、中国学科および法学部の学生は派遣ができませんので、ご注意ください。

8. 就職と進路

Q.1 英語教員になるためには、英米学科は有利ですか。教職課程を履修すると、学生生活はハードになりますか。また、留学した場合、教員免許の取得は困難ですか。

英米学科では、「中学校外国語（英語）」および「高等学校外国語（英語）」の教職免許を取得することができます。本学では、英米学科の他、文学部比較文化学科および外国語学部国際関係学科でも同免許を取得することができます。しかし、英語に関する総合的なスキルと知識を習得することができる本学科は、その中でも最も期待に応えることができます。また、英米学科では、Diversity and Inclusion をテーマとした科目を設定しており、ジェンダーや心身の障害など、教室の中の多様性について学ぶことができます。英語教員を目指す方はぜひ英米学科を目指してください。



教員採用試験を受験する学生は、昨今の教員採用試験の厳しい状況の中でも毎年 5～10 名程度います。採用の実態は、自治体によって大きく異なります。最初から正式の教諭として採用される自治体もあれば、すぐに教諭として採用されることはまずなく、多くは常勤講師として採用される自治体もあります。

教職科目の中には、卒業に必要な科目以外に取得しなければならない単位が多いため、学生生活は確かにハードになります。それでも基本的には 4 年間で卒業することが可能です。ただし、各年次で履修すべき科目が細かく決められており、教育実習に行くまでに必ず取得していなければならない科目の指定もあります。ですので、留学等の期間によっては、教員免許取得のためにもう一年在学しなければならなくなることが多いことを、あらかじめご了解ください。

Q.2 どんな就職先がありますか。航空業界をめざすなら、英米学科と国際関係学科のどちらがお勧めですか。

就職先として人気が高いのが、航空、旅行、サービス、英語教職などです。テレビ局のアナウンサー等を目指している人もいます。また、公務員になる人も増えています。卒業後に海外の大学や大学院へ留学する人や、国内の大学院への進学を目指す人も増加しています。

航空業界の人気は毎年高いです。コロナ禍で募集を止めている航空会社もありますが、英米学科のみならず国際関係学科、文学部比較文化学科などからも、例年多くの学生が航空業界に就職しています。ですから、どの学科がより有利かという判断はつきかねます。ただ、英米学科の先輩たちは近年、国内のみならず海外の航空会社へも就職しています。英語力に自信を持っている英米学科生ならではのことでしょう。

Q.3 公務員試験のためのカリキュラムはありますか。

通常の授業ではありませんが、北九大生協が毎年、公務員試験対策講座を開催しており、多くの受講生が熱心に学んでいます。英米学科でも公務員を目指す学生は多く、その中で学びあい切磋琢磨しながら取り組んでいる結果、合格実績も上がっています。卒業までに合格できなかった人も、卒業後も受験のために学び続け、再チャレンジしている例が多く見られます。

4. 本年度の卒業生の進路を教えてください。

2022年3月に英米学科を卒業した学生の就職決定率は、96.7%でした。コロナ禍で就職活動が困難と言われていますが、特にグローバル人材を求める傾向が強まっている昨今、英米学科の学生は奮闘しています。

本学では、キャリアセンターが就職ガイダンスやインターンシップなどの指導や案内を行ない、就職支援を徹底して行なう体勢を整えています。また、キャリア教育担当の教員が配置され、学生の指導に当たっています。北九大生協でも、就活支援セミナーや公務員講座、エアライン講座などを開講しています。また、他の大学生協と協力して、毎年「業界学校」や「就活大作戦」を開催し、就職支援を行なっています。

就職先として人気が高いのは、エアライン関係、旅行・サービス関係、英語教職関係などです。ことに各地の教員採用試験が極めて厳しい中で、英語教員を目指す人々は努力に努力を重ねて、狭き門を突破しようとしています。他方、卒業後に海外の大学・大学院へ留学する人や、国内の大学院への進学を目指す人も増加しています。

以下に、本年3月に卒業した英米学科の卒業生の就職先をご紹介します。

【建設】パナソニックホームズ株式会社（株）

【製造】アクアクララ（株）、（株）アグリス・ワン、（株）もち吉、キャブ（株）、（株）サントラージュ、（株）安川電機、興和（株）、エスティケイテクノロジー（株）、上野精機（株）、（株）三井ハイテック、ダイキンMRエンジニアリング（株）、大石産業（株）

【電気・ガス・水道】九州電力株式会社

【情報通信】Earth Technology（株）、（株）エージェント、（有）キーノスロジック

【卸・小売】フレッシュエアー（株）、（株）Misumi、MXモバイリング（株）、イオンバイク（株）、レッドホースコーポレーション（株）、（株）フライハイト、（株）マザーハウス

【金融・保険・証券】（株）大分銀行、福岡ひびき信用金庫、日本生命保険相互会社

【不動産・賃貸管理】（株）長谷エアーベスト、（株）東京日商エステム、三井不動産リアルティ九州（株）、東京建物（株）

【サービス】ロングライフホールディング（株）、ソラーレホテルズアンドリゾーツ（株）、（株）一步一步、（株）錦水館、日本マクドナルド（株）、コナミスポーツ（株）、（株）ディアーズ・ブレイン、（株）大分スポーツプロジェクトパサジィ大分、ライク（株）、（株）APパートナーズ、（株）イデックスビジネスサービス、（株）キューボ、（株）スタッフエージェント

【教育、学習支援】大分県教育委員会（竹田高校・英語）、福岡県教育委員会（高校・英語）、福岡県教育委員会（中学・英語）、福岡市教育委員会（中学・英語）、NOVAホールディングス（株）、（株）アミティー

【医療・福祉】大分県社会福祉協議会

【公務】航空自衛隊、福岡国税局、門司税関、行橋市役所、福岡県警察、名古屋市消防局

9. 英米学科の入試

Q.1 全国推薦と地域推薦の違い、全国推薦の面接、地域推薦の小論文の内容について、詳しく教えてください。

全国推薦の募集定員は18名です。応募条件は、評定平均値3.5以上の方で、TOEIC 640点取得者、TOEFL iBT 68点取得者、英検準1級以上の級の合格者、GTEC(3技能版) 760点、GTEC(4技能版) 1230点取得者が応募できます。英語による面接によって選抜します。面接は10分程度で、挨拶や一般的な質問から始まり、最後にやや長めに自分の考えや意見を言ってもらいます。



地域推薦の募集定員は9名で、調査書の評定平均値3.7以上、英語の評定平均値4.0以上の人が志願でき、英語による小論文により選抜します。小論文については、文章を読んで内容を要約し、それを踏まえて自分の考えをまとめてもらいます。したがって、どんなに素晴らしい小論文ができたとしても、出題文の内容を踏まえていないものは減点されます。文章を良く読んで、その主張を受け止めた上で、自分の意見をまとめてください。その際、当たり障りのない内容の答案をよく見かけますが、そうではなく、根拠をきちんと示した上で、大胆で説得力のある論を展開してください。英語小論文は、細かな文法の正確さより内容を重視します。

推薦入試の倍率は、いずれも極端に高くはありません。推薦基準をクリアしている人であれば、よく準備して臨んでもらえれば、合格できる可能性は高いでしょう。

Q.2 大学入学共通テストで英語が300点というのは、どのような内訳ですか。

大学入学共通テストでは、国語(200点)、英語(300点)に加え、その他の科目から1科目(100点)選択できるようになっています。得点が高かった科目を選択してください。英語の内訳は、リーディング150点とリスニング150点になっており、素点合計200点を300点に換算します。

可否判断の際は、大学入学共通テストと個別学力試験(二次試験)の合計点で判断しますので、大学入学共通テストの点数が伸びなかった人も、挽回できる可能性は高いです。ただし、入学後も英語力は重要ですので、どんなに英語が得意でも、英語の勉強は地道に続けておきましょう。

Q.3 一般選抜・個別学力試験の英語、小論文はどのような内容ですか。過去問で英語の要約がありましたが、要約できていないと点数はもらえませんか。

一般前期は募集定員76名で、英語の総合問題が出題されます。具体的な内容については、過去問でご確認ください。本年度も形式的に大きな変更はありません。

一般後期は募集定員12名で、小論文が出題されます。英文の要約も求められ、ここではどれだけ内容を正確に把握できているか、そのことがうまくまとめられているかが問われます。その上で、どれだけ自分の考えを大胆に論理的に展開できているかを評価します。また、英語による小論文作成の際は、細かな文法の正確さより、流暢で論理的な文章展開を重視します。判読できない英文では困りますが、間違いを恐れずたっぷり文章を書いてください。説得力の高い論を期待しています。

Q.4. 総合型選抜について詳しく教えてください。

総合型選抜の募集定員は20名です。1次試験では、英文テキストが配られ、45分間の英語による模擬授業を受けてもらいます。その後、休憩をはさんで筆記試験(90分)となります。評価は、(1)英文テキストの内容の理解度、(2)模擬授業の内容の理解度、(3)それらについての受験者の考えと、英語による説明の程度に基づきます。テキストの読解と講義の聴解の両方が求められます。その上で皆さんがどれだけ自分の考えをまとめ、それを表現できるかが、最大の評価ポイントです。

1次試験の成績が優秀な方を対象に、2次試験を面接形式で実施します。面接では一般的な問答を英語と日本語で行ないますが、模擬授業で扱った内容についても聞かれる可能性があります。ですから、面接前に、模擬授業の内容をひととおり確認しておいてください。

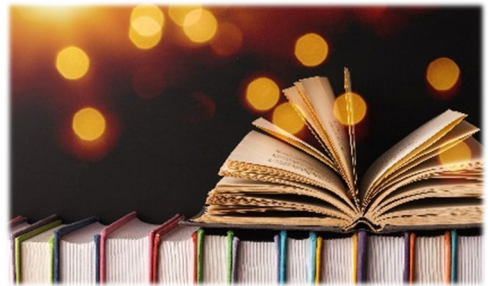
「英語による模擬授業」「英語による問答」と聞くと、レベルが高すぎると思うかもしれませんが、基本的には高等学校の英語の授業内容を習得していれば対応できるレベルで実施しています。英語スピーキングに関しては、流暢さよりも発言内容がポイントとなります。また積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢が見られるかなど、積極性や意欲を重視して選考します。総合型選抜は1次試験を9月、2次試験を10月に実施します。

また、合格者を対象として、入学前指導を実施します。12月頃にスクーリングを実施し、そこで課題を指示します。その課題を指示された日時までに送付してもらいます。総合型選抜は、この入学前指導を必ず受講することを前提にした制度です。ですので、スクーリングに参加しなかったり、課題を提出しなかったりした場合には、合格が取り消される可能性があります。

Q.5 英米学科に入学するためには、どんなことを勉強しておいたら良いですか。

英米学科は、単に英語力の上に優れた、狭い意味での英語の専門家を養成することを目標とした学科ではありません。英語の運用能力に関しては、可能な限り高いスキルを身につけて卒業してもらえようカリキュラムを備えていますが、現代は「英語を使って何ができるか」が問われます。その「何か」ができて初めて、本当の意味での英語のスペシャリストとなります。英語を使って何をしたいのかを考えておきましょう。

英語に関しては、基礎力を固めておくと良いでしょう。基本は読解力と文章表現力です。とりわけ、英語を速読するスキルがあると、入学後の学習がとてもしやすくなります。高校の教科書を何度も音読したり、教材の音声を聴いてリピートしたり、文法の教科書を復習したりしておくなどの基礎固めをしておいてください。余裕のある人は、ラジオ・テレビ講座やサイドリーダー(副読本)、多読用の本などに多く触れておく



良いでしょう。

同時に、いろいろな事柄に幅広く興味を持つことが大切です。学生向けに編集された英字新聞は、そのための格好の教材です。いま世界で起きている事柄やさまざまなトピックに関する記事や音楽情報などが掲載されており、英語を学びながら周辺知識を増やすこともできます。英語に限定せず、興味のある分野の知識を増やしておくことも、とても重要です。

また、普段から、自分が思っていることを英語で話したらどうなるかを考えて、口に出してみるという練習法も効果的です。こうした問題意識を持ちながら生活していると、おのずと生活語彙を増やしていくことにつながっていくでしょう。

高い志を持ち、さまざまなことに積極的にチャレンジする気持ちを持った方々に入学してほしいと願っています。皆様のご入学をお待ちしています。

10. 学生生活・アルバイト・クラブ活動

1. 授業とアルバイト、クラブ活動の両立

本学はクラブ活動が盛んな大学として知られていて、大学生協連が定期的に行なっている全国の大学の学生生活実態調査でも、そのような結果が出ています。詳細は大学案内をご覧くださいと思いますが、文化系、体育系とも、数多くのクラブ・サークルがあります。ボランティア活動などを中心とするサークルもあり、メディアに取り上げられたこともあります。



クラブ活動に没頭して勉学がおろそかになり、留年を繰り返す学生がいることも事実です。しかし、多くの学生は、勉学とクラブ活動を両立させています。クラブ活動への参加には、授業では学べない社会勉強ができる側面もあります。皆さんも、授業との両立を前提に、興味ある活動に積極的に参加してください。

また、いわゆるクラブ活動とは少し違いますが、学友会、外国語学部自治会、421Labでの地域貢献活動、大学祭実行委員会、生協学生委員会など

の組織もあります。

他方、生活費や学費、留学や海外インターンシップへの参加の一助とする目的で、多くの学生がアルバイトをしています。大学事務で紹介しているものもありますので、興味がある人は訪ねてみてください。クラブ活動と同様、アルバイトによって学べることも少なくありません。自分のやりたいことや挑戦したいことを目指してがんばってください。

2. 住居の斡旋、家賃

本学には寮がありませんので、遠隔地から進学する場合、合格発表ののち速やかに住居を探さなければなりません。北九州市およびその近郊、あるいは福岡都市圏など、通学可能なエリアから鉄道や高速バスで通学する人も少なくありません。また、九州新幹線の開通により、かなりの遠隔地からでも通学が可能になっています。

しかし、クラブ・サークル活動や自治会活動、アルバイトなどを考えると、遠距離通学では不便かもしれません。北九大生協でも住宅斡旋事業を行なっていますので、訪ねてみると良いでしょう。入試の時期には、生協が住宅斡旋の案内を出しています。合格が決まる前に仮予約を行なうこともできますので、相談してみてください。北九大生協では、生協学生委員会のメンバーが中心となって、皆さんにあった住宅を選び、学生の視点からお勧めできる住居を紹介しています。費用は住居の広さや備品、交通の便などにより変わりますが、一月あたり4~6万円のもの的人气を集めているようです。

2022年8月1日発行



北九州市立大学

外国語学部 英米学科

〒802-8577

北九州市小倉南区北方4丁目2番1号

TEL/FAX: 093-964-4065

E-mail eisen@kitakyu-u.ac.jp

U R L: <http://www.kitakyu-u.ac.jp>

学科のウェブサイトや紹介動画、SNS でも、英米学科の雰囲気を感じていただけます！



学科紹介ウェブサイト

<https://www.kitakyu-u.ac.jp/foreign/english.html>



PR 動画(ハイライト版)

<https://youtu.be/m9xTIZhYL8>



PR 動画(フルバージョン)

<https://youtu.be/DbvSA+Olu-o>



Twitter 英米学科公式

https://twitter.com/ukk_eibei